

チェックリスト Ver.4.0 回答の 書き方ガイド

国立情報学研究所クラウド支援室



- 学認クラウド 導入支援サービス
- チェックリスト概要
- ご回答の際、ご注意頂きたいこと
- チェックリストVer.4.0の変更点
- チェックリスト回答のご提出について



- 学認クラウド 導入支援サービス
- チェックリスト概要
- ご回答の際、ご注意頂きたいこと
- チェックリストVer.4.0の変更点
- チェックリスト回答のご提出について



学認クラウド 導入支援サービス

チェックリストとは

- クラウドサービスの信頼性、セキュリティ、契約条件などについて、大学・研究機関が導入時に確認すべき項目のリスト



学認クラウド 導入支援サービス

1. NIIクラウド支援室がチェックリストを策定 (2018/08/08にVer.4.0が策定されました)



学認クラウド 導入支援サービス

2. クラウド事業者は自社のクラウドサービスにおいて、チェックリストの項目に関してどのように提供／サービス／対応しているかを記入して、NIIに回答



学認クラウド 導入支援サービス

3. チェックリストの回答をNII内で検証し、その結果についてクラウド事業者 – NII間で確認（メールでの確認作業となります）



学認クラウド 導入支援サービス

4. クラウド事業者とNIIが内容について同意した
チェックリストの回答を大学・研究機関に提供
(認証が必要な共有スペース (wiki) で公開)



学認クラウド 導入支援サービス

5. 大学・研究機関はチェックリスト回答の情報を活用して調達を行う



- 学認クラウド 導入支援サービス
- **チェックリスト概要**
- ご回答の際、ご注意頂きたいこと
- チェックリストVer.4.0の変更点
- チェックリスト回答のご提出について



チェックリスト概要

チェック項目（大項目）

- 商品 / サービスの概要
- 運用実績
- 契約申込み
- 認証関連
- 信頼性
- サポート関連
- ネットワーク・通信機能
- 管理機能
- ソフトウェア環境
- スケーラビリティ
- データセンター
- セキュリティ
- データ管理
- バックアップ
- クラウド事業者の信頼性
- 契約条件
- データの取り扱い
- データの引継ぎ
- 第三者認証

- 学認クラウド 導入支援サービス
- チェックリスト概要
- **ご回答の際、ご注意頂きたいこと**
- チェックリストVer.4.0の変更点
- チェックリスト回答のご提出について



ご回答の際、ご注意頂きたいこと

- 「できる」「できない」の基準
- ご回答の根拠となる情報（エビデンス）のご記入
- URLが変更される文書について
- 代理店（リセラー）によるご記入
- 記入対象となる第三者認証
- その他



「できる」「できない」の基準

ある機能が実現可能か・あるサービスについて対応可能かの判断基準は以下をご参考にして下さい

「できる」の例：

- **基本機能**で可能
- **オプション**で可能
- **個別対応（有償）**で可能
 - 事業終了時の対応などで、規程が無い場合など

「できる」「できない」の基準

「できない」の例：

- ユーザによる実装により可能
 - (バックアップ機能は) ユーザが**スクリプトを書く**ことで対応可能など
- サードパーティの製品により可能
 - (セキュリティ対策は) アプライアンス (特に**オプションとして用意されていない**) を導入すれば可能など

サービスとして提供されているかどうかを基準としてご回答下さい

ご回答の根拠となる情報のご記入

「～可能です」「～利用できます」「～実施しています」と回答された場合、その**根拠となる情報（エビデンス）**が公開されている場合は、その**場所**についてもご記入をお願いしております

- 根拠となる情報をWeb上に公開している場合は、その情報の場所（URLなど）をご記入
- 契約者にのみ公開している、内部文書で規定している、公開していない、などの場合はそのようにご記入（←回答としてはこれでも**問題ありません**）

ご回答の根拠となる情報（エビデンス）のご記入

記入例：

- http://www.***.com/document/ に公開している約款の第3条 ○○に記載しております
- ご契約頂いたお客様にのみ開示しております
- 公開しておりませんが、内部文書に基づき運用しております
- 詳細については非公開です（←これでも回答としては問題ありません）

URLが変更される文書について

- 頻繁にバージョンが上がるなど、URLが変更される文書に関しては一つ上のレベルのURLをご記入頂き、それに続けて「『文書名 該当箇所』参照」のようにご記入下さい

例：「http://www.***.com/document/ の『セキュリティポリシー 適用範囲』参照」など

代理店（リセラー）によるご記入

- 項目A2「提案者（ベンダー名あるいは代理店名）」において、代理店によるサービスの場合、**バックエンドのクラウドサービス**についてもご記入下さい
- 項目C2「契約書の有無・その他の交付書面の種類」において、バックエンドのクラウドサービスの契約書等を承認する必要がある場合は、そのことともご記入下さい。

記入対象となる第三者認証

	事業継続性関連 (S1)	データセンター 関連(S2)	セキュリティ関連 (個人情報関連 も含む)(S3)	経営・事業関連 (S4)
ISO 22301 (BCMS)	✓			
Uptime Tier		✓		
JDCC FS-001		✓		
Pマーク			✓	
ISO 27001 (ISMS)	✓	✓	✓	
ISO 27017、ISO 27018			✓	
SOC2、SOC3 (業務受託会社のセ キュリティ等)			✓	
PCI DSS			✓	
クラウドセキュリティマーク			✓	
ISO 20000 (ITSMS)	✓		✓	✓
SOC1 (業務受託会社の内部統制)				✓
ISO 14001 (環境)				✓
ISO 9001 (品質)				✓



その他

- 記述回答欄・備考欄に「同上」「項目nと同様」のようには書かず、複数のセルに同一内容をご記入下さい
 - 大学・研究機関の閲覧者は、ブラウザに表示された複数事業者によるサービスのチェックリスト回答一覧を参照するため
- 該当しない質問の記述回答欄には「-」をご記入ください
- Excelのレイアウトは変更しないで下さい

- 学認クラウド 導入支援サービス
- チェックリスト概要
- ご回答の際、ご注意頂きたいこと
- **チェックリストVer.4.0の変更点**
- チェックリスト回答のご提出について



チェックリストVer.4.0の変更点

- 追加項目
- チェック項目の変更
- 回答方法の変更
- 回答項目の変更
- 質問中の文言変更
- 回答項目表示方法の変更



追加項目

- 詳細チェック項目を追加しました
I4：動作プラットフォーム

I4: 動作プラットフォーム

サービスを提供するプラットフォーム(ハイパーバイザ、OS、ミドルウェア、ソフトウェアパッケージ等)を明記してください。

チェック項目の変更

- チェック項目（大項目）名を変更しました
I：ソフトウェア環境
 - 「動作保証」→「ソフトウェア環境」
- 詳細チェック項目名と質問内容を変更しました
H5：管理API
 - 「管理APIの互換性」→「管理API」
 - IaaSのみ必須回答を全サービスに適用

H5：管理API

管理APIはありますか。管理APIがある場合、その管理API、他社クラウド製品との互換性を明記してください。



回答方法の変更

- D1 : Shibboleth利用可否
 - 「 Yes/No回答」 → 「Yes/No回答（記述あり）」

D1 : Shibboleth利用可否
Shibbolethによるユーザ認証は可能ですか。

回答方法の変更

- C4：契約期間、C7：支払方法
 - 「記述回答」 → 「Yes/No回答（記述あり）」

C4: 契約期間

最低利用期間の定めはありますか。ある場合は明記してください。

C7: 支払方法

支払方法は請求書払いに対応していますか。また、課金額や使用資源量に応じて支払方法に制約や変更がある場合は、明記してください。

回答方法の変更

- E5：サービス停止の通知（計画停止） 、 E6：サービス停止の通知（計画外停止）
 - 「記述回答」 → 「Yes/No回答（記述あり）」

E5: サービス停止の通知(計画停止)

計画停止を実施する場合の通知手順が**定められていますか**。定められている場合、その通知手順(ウェブページに掲載(可能ならばURLを明記)、電子メール、契約時に書面で交付など)を明記してください。

E6: サービス停止の通知(計画外停止)

計画外停止を実施する場合の通知手順が**定められていますか**。定められている場合、その通知手順(ウェブページに掲載(可能ならばURLを明記)、電子メール、契約時に書面で交付など)を明記してください。



回答方法の変更

- L2：バージョンアップの頻度、 M7：ログ閲覧可能期間の確認方法
 - 「記述回答」 → 「Yes/No回答（記述あり）」

L2：バージョンアップの頻度

クラウド事業者がサービスを提供するために用いるサーバのOS・アプリケーションのバージョンアップの頻度**あるいは基準が定められていますか**。定められている場合、その頻度**あるいは基準**を明記してください。

M7：ログ閲覧可能期間の確認方法

アプリケーションログ（SaaS、IDaaS）あるいはクラウド事業者が管理するサーバのシステムログ/操作ログ/アクセスログ（IaaS）の閲覧可能期間が**定められていますか**。定められている場合、その期間を明記してください。



回答方法の変更

- S1：事業継続性、 S2：データセンター
 - 「記述回答」 → 「Yes/No回答（記述あり）」

S1: 事業継続性

当該のサービスに携わる部署が事業継続性に関する第三者認証（ISO 20000、ISO 27001、ISO 22301(BCMS)など）を**取得していますか**。取得している場合は明記してください。（書き方ガイド「記入対象となる第三者認証」参照。）

S2: データセンター

データセンターに関連する第三者認証など（Uptime TierやJDCC FS-001など）を**取得していますか**。取得している場合は明記してください。（書き方ガイド「記入対象となる第三者認証」参照。）



回答方法の変更

- S3：セキュリティ、 S4：経営・事業
 - 「記述回答」 → 「Yes/No回答（記述あり）」

S3: セキュリティ

当該のサービスに携わる部署は、セキュリティに関する第三者認証など(プライバシーマーク、ISO 27001、ISO 27017、ISO 27018など)を**取得していますか**。取得している場合は明記してください。(書き方ガイド「記入対象となる第三者認証」参照。)

S4: 経営・事業

経営・事業に関する第三者認証(SOC1、ISO 14001など)を**取得していますか**。取得している場合は明記してください。(書き方ガイド「記入対象となる第三者認証」参照。)



回答項目の変更

- I1 : 利用可能OS
 - IaaSのみ必須回答を全サービスに適用

I1 : 利用可能OS

サーバ上で動作保証されているOS・バージョンの情報(IaaS)あるいはアクセス可能なOSやブラウザ(SaaS、IDaaS)を列挙するか一覧できるウェブサイト等を示して下さい。また、OSのサポートを一括して行う問い合わせ窓口がある場合は明記してください。

質問中の文言変更

- BYOLできるかを明記してください
 - C11：ライセンス体系

C11:ライセンス体系

構成員数やキャンパス数によって価格が決まるサービスモデルの場合は、その旨を明記してください。あわせて、算定対象となる構成員の範囲やキャンパスの定義（同一市内であれば1キャンパスとしてカウントなど）も明記してください。また、サービスを実現するソフトウェアのBYOL（Bring Your Own License、ライセンス持込み）が可能である場合には、その旨を明記して下さい。



回答項目表示方法の変更

- 提案サービスの区分を選択すると、任意回答項目がグレーアウトするように変更しました

このチェックリストは随時更新します。ご意見やご希望など、是非old-office-support@ni.ac.jpまでお知らせください。お願い致します。

回答の検証を行うために、その根拠を示すカタログやウェブ情報などの参照資料のご提出もお願い致します。

SaaS / IaaS / IDaaS (Identity as a Service) で、回答する項目が分かれております。リスト中「○」の項目への回答は必須、「×」の項目への回答は任意です。

備考欄は回答以外で事業者が説明を加えたい場合や、回答の検証を行うために参照する資料(カタログの△△ページなど)のご記入等にご利用下さい。

ユーザの作業(スクリプト作成等)を行わずに実現可能な機能を、サービスの機能とします。

本チェックリストはクリエイティブ・コモンズ 表示 4.0 国際ライセンスの下に提供されています。

字認クラウド 導入支援サービス チェックリストVer4.0

提案サービスの区分を右から選択してください

チェック項目	項番	詳細チェック項目	記入要領	回答方法	SaaS	IaaS	IDaaS	Yes / No	記述回答	備考
ネットワーク・通信機能	Q 1	SINET接続状況	SINETクラウド接続サービスに参加していますか。未対応の場合、対応予定の有無をご記入ください。	Yes / No (記述あり)	○	○	○			
	Q 2	ネットワークインターフェース数	サーバごとに複数のネットワークインターフェースが利用できるサービスが提供されていますか。提供されている場合は上限数を明記してください。また契約大学(大学等)ごとの上限がある場合はそれも明記してください。	Yes / No (記述あり)	×	○	×			
	Q 3	ファイアウォール利用可否	サーバを防御するためのファイアウォールがサービスとして提供されていますか。提供されている場合は、アクセス制限の単位(IPアドレス、ポート番号など)を明記してください。端末からサーバまでの通信の暗号化がサービスとして提供されていますか。提供されている場合は暗号化の方式(SSHやSSL/TLSによる暗号化、ファイル共有におけるAES、SINET L2VPN、IPsec、SSL-VPN等)を明記してください。	Yes / No (記述あり)	×	○	×			
	Q 4	通信の暗号化可否	端末からサーバまでの通信の暗号化がサービスとして提供されていますか。提供されている場合は暗号化の方式(SSHやSSL/TLSによる暗号化、ファイル共有におけるAES、SINET L2VPN、IPsec、SSL-VPN等)を明記してください。	Yes / No (記述あり)	○	○	○			
	Q 5	グローバルIPの利用可否	ユーザは大学の持っているグローバルIPアドレスを任意のサーバに割り当てることが可能ですか。	Yes / No	×	○	×	-		
	Q 6	IPアドレス制限の可否	ユーザはアクセス元のIPアドレスをもとにアクセス制御を行うことはできますか。	Yes / No	○	×	○	-		
	Q 7	専用ネットワークセグメント利用の可否	クラウド上にユーザ専用のネットワークセグメントを利用することができますが、利用できる場合はその方法を明記してください(事業者からの割り当て、ユーザによる作成など)。	Yes / No (記述あり)	×	○	×			
	Q 8	ネットワーク帯域	リソースが接続されるネットワークについて帯域保証はありますか、ある場合、帯域幅・仕様を明記してください。	Yes / No (記述あり)	○	○	×			
	Q 9	レスポンス時間	サービス(アプリケーション)の応答時間を公表していますか。公表している場合、測定対象と標準的なレスポンスタイムを明記して下さい。	Yes / No (記述あり)	○	×	○			



- 学認クラウド 導入支援サービス
- チェックリスト概要
- ご回答の際、ご注意頂きたいこと
- チェックリストVer.4.0の変更点
- **チェックリスト回答のご提出について**



チェックリスト回答のご提出について

- 今回も、事業者－NII間のチェックリスト回答の受け渡しはメールの添付ファイル（※）にて行わせていただきます
 - － 回答 → 検証 → 再回答 → 再検証 … を繰り返し、双方同意の上で公開となります
 - － **お手数をお掛けしますがよろしく申し上げます**
- ※：クラウド事業者が提供しているファイル共有サイトも利用可能

- **最初の公開**までは添付ファイルでのやり取りとなります
- **2か月間再回答がない場合**には、取り下げとみなす場合があります



チェックリスト回答のご提出について

- 一度公開したチェックリストに関しては、**CSVファイルでブラウザから更新**できます
 - 従来の添付ファイルによる更新も受け付けます
 - 想定しているフロー：
 1. NIIが更新を希望するクラウド事業者にアカウントを配布
 2. 事業者はアカウントでWebサイト（SSL利用）にログイン
 3. 自社サービスのチェックリスト回答を閲覧・編集・CSVファイルをアップロード
 4. NIIは編集内容を検証、質問があれば再回答、無ければ公開





<https://cloud.gakunin.jp/>

学認クラウド

検索

